

岡山大学病院は、造血幹細胞移植推進拠点病院の事業として、造血幹細胞移植に携わる専門的な医療従事者、及び地域の医療従事者の育成を目的としたセミナー、実地研修を行っています。

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業

第4回 中国ブロック 造血細胞移植看護研究会・アンケート報告

2017/11/3 (金・祝) 13:30~16:20

岡山コンベンションセンター 2Fレセプションホール

「造血細胞移植の基礎を学ぶ」をテーマに、医師、看護師のほか、薬剤師や臨床検査技師による研究会を開催いたしました。

参加者130名：看護師101名 臨床検査技師9名 HCTC4名 血液内科医師5名 小児科医師2名 事務職員4名 臨床工学技士2名
薬剤師2名 歯科医師1名 (当院含めて22施設参加)

岡山大学病院・造血幹細胞移植推進拠点病院

講演

12:00-13:00

「造血細胞移植のキホン」

岡山大学病院 血液・腫瘍内科 藤井 伸治 医師

13:00-14:00

「同種移植後の合併症について」

山口大学医学部附属病院 第三内科 中邑 幸伸 先生

14:10-14:55

「移植前処置の薬剤について考える」

岡山大学病院 薬剤部 佐田 光 薬剤師

14:55~15:40

「造血幹細胞移植時の看護 ～看護師が行う前処置の管理～」

米子医療センター 濱田のぞみ 先生

15:40~16:20

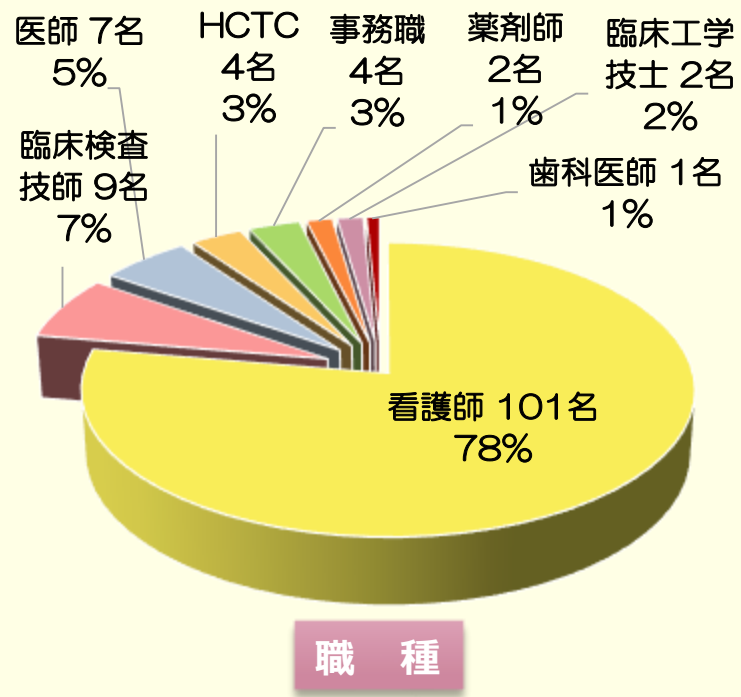
「造血幹細胞移植時の輸血血液型」

岡山大学病院 輸血部 浅野尚美 臨床検査技師



第4回 看護研究会 アンケート報告 –セミナー全般について–

ご参加者の背景

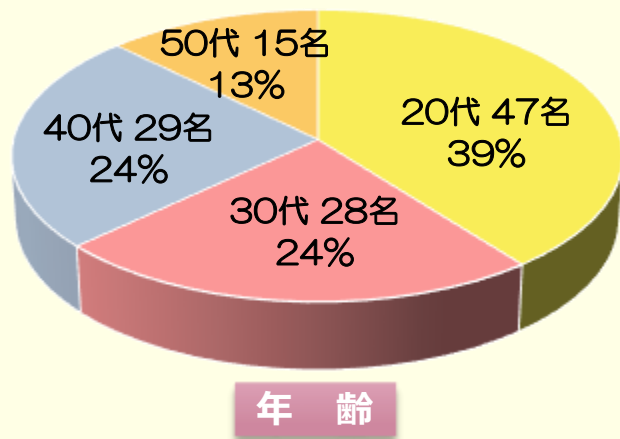


ご参加者の内訳 130名

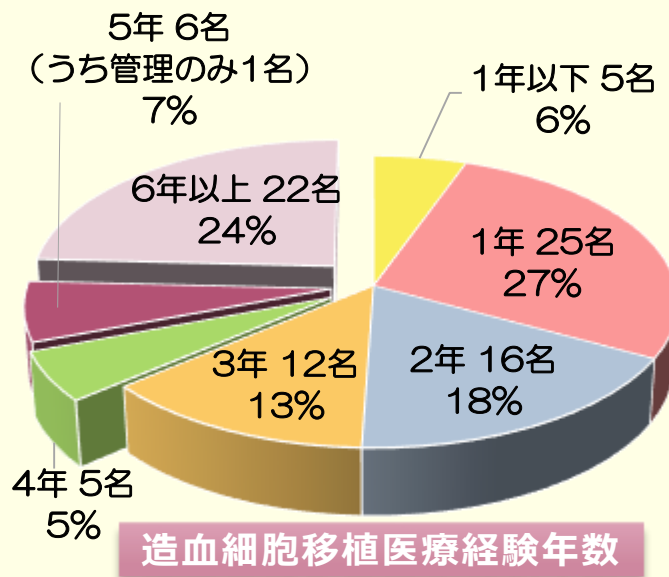
- ◆看護師 101名 (HCTC兼務1名)
- ◆臨床検査技師 9名
- ◆医師 7名 (うち血液内科 5名 小児科 2名)
- ◆HCTC 4名
- ◆事務職員 4名
- ◆臨床工学技士 2名
- ◆薬剤師 2名
- ◆歯科医師 1名

第4回 看護研究会 アンケート報告

ご参加者の背景

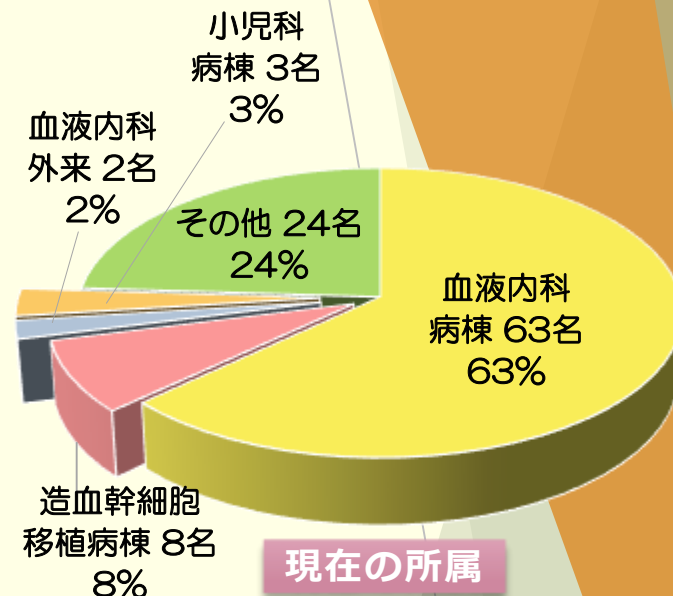


アンケート回収率 91.5%



6年以上 22名

- 6年 3名
- 7年 2名
- 8年 3名
- 9年
- 10年 5名
- 10年以上 1名
- 13年 1名
- 15年 1名
- 20年 1名

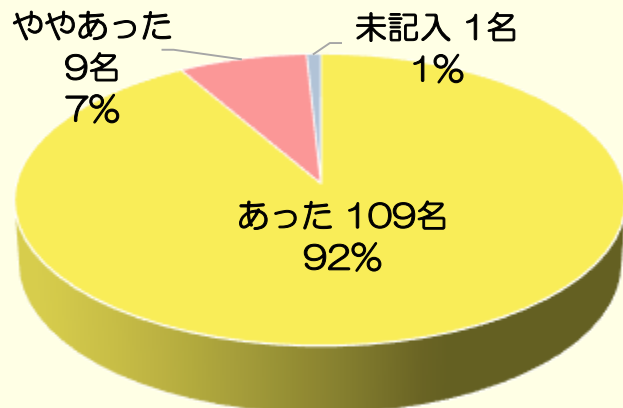


その他 24名

- 血液センター 8名
- 検査関係 4名
- 小児科外来 2名
- MEセンター 2名
- 看護部 1名
- 記載なし 7名

第4回 看護研究会 アンケート報告

研究会全般に関して



参加意義

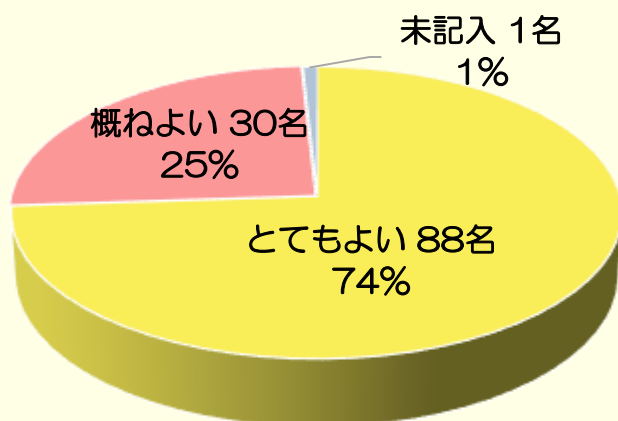
あった/ややあった

- 基本的な内容ばかりだったので、とても勉強になった。
- 造血幹細胞移植について、基礎から看護までよく分かった。
- 当院で行っている移植を思い出しながら、タイムリーな情報を知ることができた。
- 移植治療について詳しいことを知りたいと思っていたので、参加できてよかった。
- 移植看護歴が長い方だが、復習もでき、新たな知識もたくさん得られてよかった。
- 血内病棟へ異動してオリエンテーションなどを受けずに半年勤務しているが、自己学習だと不安だった。自分の持っている知識がどれだけ合っているか、間違っているかが分かり、よかった。
- 移植に対する歴史を知ることができて、この業務に携わっていることに誇りを持てた。
- これから移植に関わる可能性があるので、事前に勉強ができてよかった。



第4回 看護研究会 アンケート報告

研究会全般に関して



全般の評価

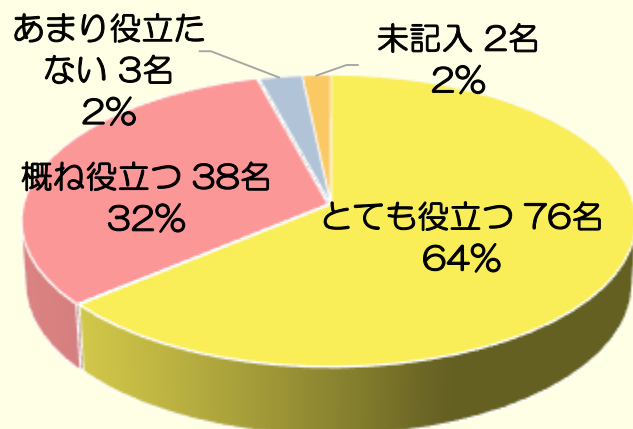


とてもよい/概ねよい

- 各部門で専門性のある知識を知ることができた。
- どの講義も、今回基本とした内容であったため、分かりやすくてよかった。
- 移植に関する知識を深めることができてよかった。
- 看護については全く分からなかったなので、違う視点からの話が聞けるよい機会だった。
- 時間がつめつめで走り気味だった。内容がかぶっていて、覚えられるところもあったが、時間ももったいなかったと思う。
- 12時から開始だったので、大変だった。

第4回 看護研究会 アンケート報告

研究会全般に関して



実践への役立ち度

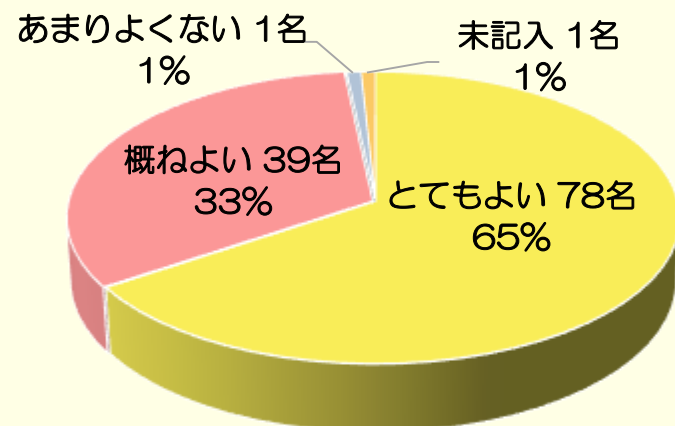
とても役立つ／概ね役立つ

- 移植治療されている患者さまとの関わりをもう一度見直すきっかけになりそう。
- 自施設での学習場面が少ないので、勉強できてよかった。スタッフへ参加を促したい。
- 指導するうえで、大変役立っていきそう。
- 実際に使用している薬剤やTBIなど明日から活かせるものが多かった。
- 基本的な内容だったので、とても勉強になった。
- 薬についての詳しい説明や表など、活用しやすい。
- **看護の話はもう少しいろいろ聞きたかった。**とてもよかった。ぜひ役立てたい。
- 再度、自己学習で振り返りながら役立っていくと思う。
- 移植を少し身近に感じられたことが役に立つかなと思う。



第4回 看護研究会 アンケート報告

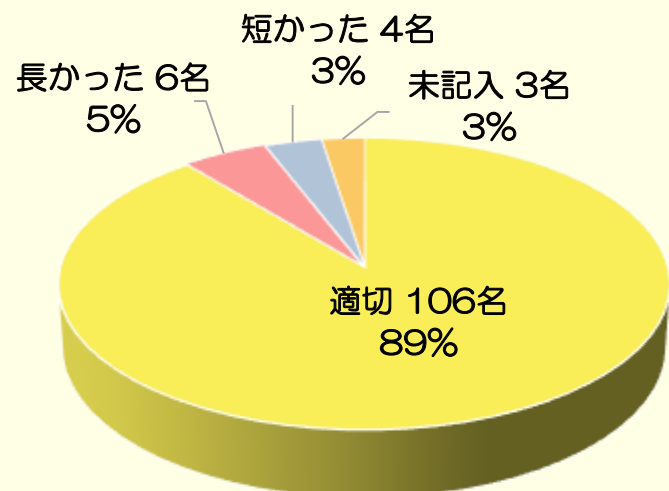
研究会全般に関して



プログラムの構成

とてもよい/概ねよい

- 専門性のある講義でよかった。
- 移植看護をするうえで、必要な内容が盛り込まれておりよかった。
- 移植に対して、各方面からアプローチされていて、わかりやすく勉強になった。
- 基礎ということで項目がたくさんあり、しんどかった。



時間配分

適切

- 集中して学習できる時間だった。
- 限られた時間の講演で、話す早さにメモを取るペースがついていけないことがあった。
- 終了時間が16時台で、帰りの時間に適切だった。

短い

- もう少し詳しく知りたかった。2日間かけて聞きたい。

第4回 看護研究会 アンケート報告 —講演について—

藤井伸治 医師 「造血幹細胞移植のキホン」

- 歴史から知ることによって今の治療のありがたさが分かった。
- 歴史から基本的なことを知る機会がなかったので、知ることができてよかった。
- 移植の歴史など、グラフや写真を用いていたので、わかりやすかった。
- 移植の基本について、わかりやすい講演だった。
- 院内での勉強会があった後だったので、復習にもなった。
- 移植について詳しく理解していなかったので、基本の講演があってよかった。自己学習にとっても役立った。
- 移植について自己学習に頼ることがあり、学び直せた。
- どのようにして移植ソースが選ばれているのか、違いについて実際に採取されている写真などを交えて説明して下さり、わかりやすかった。
- 基本的なことを踏まえることで、再度頭に入れながら役立てていきたい。HLA適合率、移植ソースによって合併症発症などが異なることが知れて、患者さまに生じる有害事象について考えながらケアを行えると思った。
- ドナーのこと、移植の生存率、金額など、患者さまに聞かれたことがあったので、知ることができてよかった。活用していきたい。検査技師なので、知識として勉強になった。



第4回 看護研究会 アンケート報告 —講演について—

中邑幸伸 先生 「同種移植後の合併症について」

- 合併症が分かりにくく理解できていなかったが、分かりやすい説明で聞きやすかった。
- GVHDについて、発症機序、どのような治療を行うのか詳しく説明してくださり、分かりやすかった。
- 移植後合併症の種類や病態について、経過を元に説明して下さい、分かりやすかった。
- 移植後合併症が多くいるため、実際の患者さまと比較しやすく分かりやすかった。とても勉強になった。
- ウルソなどの服用理由が明確になった。
- カルテ、状態を見直して関連づけたい。
- 患者さまに起こりうる合併症を考えて、日々治療していることがわかった。 • 自己学習にとっても役立った。
- 症状の詳細や識別まで説明があってよかった。現在入院中の患者さまの状態と照らし合わせて聞くことができた。
- どのような合併症なのか、予測しながら患者の観察をしていきたい。患者さまに治療をするうえで、説明ができそう。
- 患者さまの状態について、なぜ病状が生じているのか、そのために何の治療をされているのか、理解できると思った。
- 移植後合併症になってしまう患者さまも入院されているので、こういった所を観察すべきかが改めて理解できた。



第4回 看護研究会 アンケート報告 —講演について—



佐田 光 薬剤師 「移植前処置の薬剤について考える」

- 薬剤の注意点についてまとめられておりとても分かりやすかった。
 - 薬品の名前や前処置は自己学習では呼び方も分からなかったので、分かってよかった。医師の説明が聞きやすくなりそう。
 - エビデンスが分かった。薬について詳しく知ることができ、多く使用する薬剤の特徴がよくわかった。
 - どの患者さまにどの化学療法を行うのか、薬剤の特性、副作用を分かりやすくまとめて説明して下さりよかった。
 - 一つ一つの薬について細かい説明で、とてもわかりやすかった。
 - MAC、RICの違いや、薬剤についてとても理解しやすかった。
 - 副作用、レジメンなど詳しく知れてよかった。
 - 普段、何気なく見ていたレジメンの組み合わせなどがわかった。
- 処方される薬剤をなんとなくしている部分があったが、関連づけることができた。
 - 前処置で使用する薬剤の副作用のみを頭に入れている所があったが、どの薬がどの程度まで副作用が出やすくなるか、といった所まで理解する必要があると思った。
 - 興味のある話だったので、理解しやすかった。たくさんの論文データがあり、信頼できる内容だった。
 - 発言される言葉一つ一つが難しく、理解するのに時間がかかってしまった。

第4回 看護研究会 アンケート報告 —講演について—



濱田のぞみ 先生 「造血幹細胞移植時の看護 ～看護師が行う前処置の管理～」

- 看護で役立つ熱い内容だった。 • 移植医療の大変さが具体的にわかった。
- すぐにでも実践していきたい内容だった。
- 目的、目標がはっきりしており、大変わかりやすかった。
- 気持ちをあらためて、移植看護に携わっていかないといけないと思った。
- 内容がわかりやすく、日々の看護を振り返らなければならないと思った。
- 看護に対する心構え、重要性がよくわかった。

- BCRの様子など写真があったり、抗がん剤で気を付ける看護など、わかりやすかった。
- 一番興味のある内容だったので、もっとゆっくり聴きたかった。
- 時間がなく、早くたくさんお話されたため、もう少し時間を割いてじっくり聞きたかった。
- 患者さまに移植において、どのような治療を受けるのか、きちんと伝えるためにどのような言葉をつかうのか、知識をきちんと入れておくことなど大切なポイントをまとめてくださっておりわかりやすかった。
- 看護師として気を付けることや、患者さまに対する声かけなど、看護のポイントを具体的に説明していただき、とてもわかりやすかった。

第4回 看護研究会 アンケート報告 —講演について—

濱田のぞみ 先生 「造血幹細胞移植時の看護 ～看護師が行う前処置の管理～」



- 実践に即した講義でよかった。
- 観察の視点など。
- 患者さまのことを認めながら看護していきたいと思った。
- 表など活用できそう。
- 資料を新人やスタッフと共有したい。
- もう一度資料を見直して、じっくり吸収していきたい。
- 患者さまの立場に立って、どのようなことを考慮してあげなければならないのか知ることができてよかった。
- 看護師として、移植の一連の流れを通しての看護師が介入すべき看護ケアを知ることができた。
- 少しの訴えでも放っておかず、気付く報告と副作用、GVHDが早くわかるようになりたいと思った。
- 粘膜障害、様々な時期の発熱に対してすぐに苦痛緩和するのではなく、患者さまの様子や発言、バイタルサインやデータ、時期も含めてアセスメントすることが大事だとわかった。
- 今まで治療計画に沿ったことや、この時期だからしんどくなるんだと思って患者さまをみていたが、患者さまにとっては当たり前のことではないことがよくわかった。
- 臨床に携わっていないが、看護師としての意気込みが素晴らしいと思った。
- 患者と一緒に悩んだり戸惑うことも、気持ちの共有の面では必要なことなので、一概に否定する必要はないと思う。
- 実務とは分野が違うが、現場での話が（実際に注意すべき所、新人の話など）勉強になった。

第4回 看護研究会 アンケート報告 —講演について—

浅野尚美 臨床検査技師 「造血幹細胞移植時の輸血血液型」

- 輸血血液型について、一つ一つ図を使いながら丁寧に説明して下さい、分かりやすかった。
- メジャー、マイナー、ミスマッチについて分かりやすく説明があり、よかった。
- 移植を受けられた患者さまから、輸血、血液型について聞かれることが多くあるので、根拠として説明できそう。
- 抗原抗体など苦手で、言われて理解するのに時間がかかったが、分かりやすかった。
- もう少しゆっくり振り返っていけば役立ちそう。普段聞けない内容なので役に立った。
- 理解が追い付かなかったので、もう少しゆっくり聞けたらよかった。
- すごく知りたかったけど、早すぎて理解が追い付かなかった。
- もっと長い時間で聞きたかった。苦手分野だったので。
- 難しかった。もっと詳しく聞きたい。
- 組み合わせなど難しかった。もっと勉強します！！
- 理解するのにもう少し時間が必要だった。
- どこかでもう一度聞いてみたい。
- もう一度資料を見直して、じっくり吸収していきたい。



第4回 看護研究会 アンケート報告



今回の看護研究会は、「造血細胞移植の基礎を学ぶ」をテーマに企画いたしました。

講演内容としては、「移植の基礎の理解」については、歴史から合併症までを血液内科医師より、「移植前処置の理解」については、薬剤師と看護師の視点から、移植時の輸血血液型については、臨床検査技師より行いました。

平成30年度より、学会と連携した移植看護の基礎をテーマとしたセミナーを開催する予定です。今後ともぜひご参加いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

造血幹細胞移植医療体制整備事業 事務局